

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-249075
(43)Date of publication of application : 22.09.1998

(51)Int.CI.

B26B 21/40
A45D 24/10

(21)Application number : 09-057519
(22)Date of filing : 12.03.1997

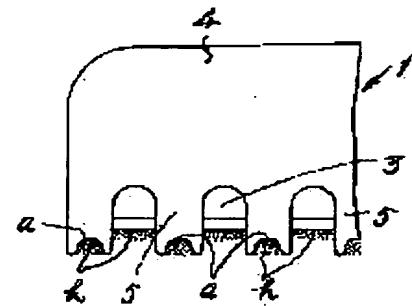
(71)Applicant : MATETSUKU MATSUZAKI:KK
(72)Inventor : MATSUZAKI KUNIHIKO

(54) RAZOR HOLDER FOR HAIRDRESSING AND BEAUTY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To divide hair to be cut, to perform partial cutting, to adjust a combing amount and to perform the cutting of a soft feeling by providing a groove for dividing the hair to be cut and adjusting the combing amount on the tip of a comb-tooth-shaped projection piece at a tip edge in a holder part for holding a razor.

SOLUTION: A main body 1 is constituted of a grip 2 and the holder part 4 of the razor 3 and the razor 3 is held by the holder part 4 of the main body 1. Then, recessed and projected parts are formed from both parts of the held razor 3, the projection pieces 5 are formed in a comb tooth shape and projected on the tip edge side of the holder part 4 and further, grooves (a) are respectively formed at the tips of the projected projection pieces 5. By storing the hair by the grooves (a), the partial cutting is performed, the hair of a cutting surface is made sparse and the soft feeling is generated. Also, by changing the width of the projection pieces 5 of the holder part 4, the various combing amount of a hair bundle is adjusted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 14.11.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-249075

(43)公開日 平成10年(1998)9月22日

(51)Int.Cl.⁶

B 26 B 21/40

A 45 D 24/10

識別記号

F I

B 26 B 21/40

Z

A 45 D 24/10

(21)出願番号

特願平9-57519

(22)出願日

平成9年(1997)3月12日

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全3頁)

(71)出願人 000137410

株式会社マテックマツザキ

東京都練馬区中村北1丁目13番12号

(72)発明者 松崎邦彦

東京都練馬区中村北1丁目13番12号 株式

会社マテックマツザキ内

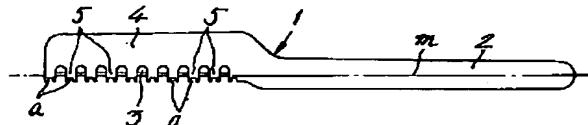
(74)代理人 弁理士 土橋 秀夫 (外1名)

(54)【発明の名称】 理美容用レザーホルダー

(57)【要約】

【課題】 カット作業で不安定となり、また作業時の力の加減やすく量の調節で高度の技術が必要であった。

【解決手段】 先端縁に櫛目状の突出片5を有してレザー3を保持するホルダー部4と、把柄部2を一端に設けて本体1を構成し、ホルダー部4の前記レザー3は前記把柄部2の中心線m上或は中心線mの後部に位置させると共に、前記櫛目状の突出片5の先端には毛髪のすき量の調節をする溝aを設けた構造。



【特許請求の範囲】

【請求項1】先端縁に櫛目状の突出片を設けてレザーを保持する本体において、前記レザーを保持するホルダ一部に、先端縁の前記櫛目状突出片の先端にカットされる毛髪を分けてすき量を調節する溝を設けた事を特徴とする理美容用レザーホルダー。

【請求項2】一方にレザーホルダと他方に把柄部を設けたレザーホルダのレザーは、前記把柄部の中心線上或は中心線の後部に位置させたことを特徴とする理美容用レザーホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、レザーホルダによって毛髪をカットしてすく時すき量の調節が容易となると共に作業時に有効な力の伝達を可能にする理美容用レザーホルダーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】多い毛髪をすく目的のレザーカットのホルダーは、図7に示すように、約半分から的一方側に把柄(グリップ)gと他方側にレザーrを保持するホルダ部bをグリップgより前方に張出させて設け、このホルダ部bの先端縁には、凹凸の波状をもって突出させた櫛目状Cを形成し、レザーrでカットするとき、毛髪は櫛目に導かれてカットするレザーホルダーは存在する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記レザーカットでは、ホルダーで保持されたレザーがグリップより前方に張出されており、そのためレザーによってカット作業するとき不安定となるだけでなく、力の加減やカットする幅、角度等ですく量を調節するには高度の技術を要している。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は斯様な実情に鑑み、この課題に対処するため、ホルダーで保持されたレザーを、グリップの中心線上或は中心線の後部に位置させ有効な力の伝達を可能にすると共に、ホルダ一部先端縁に設けた櫛目状の突出片の先端に溝を設けて、カットされる毛髪を分けて部分的なカットを可能にしてすき量の調節を容易としたレザーホルダーを提供するものである。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明は、多い毛髪をすく目的のレザーカットは、毛髪をすく時の部分的なカットを可能にしてすき量の調節が容易にして、しかも作業時のレザーを安定させ、有効な力の伝達が可能にするレザーホルダーの一実施例を示したもので、以下添付図に基いて具体的に説明する。

【0006】1は、グリップ2と、レザー3のホルダ部4からなる本体で、この本体1の前記ホルダ部4で保持されたレザー3は、グリップ2の中心線m上に位置

させるようにしてカット時の力の無駄を省くようにしてある。

【0007】また、ホルダ部4の先端縁側には保持したレザー3の双部より凹凸させて櫛目状に成形して突出させ、更にこの突出させた突出片5の先端には夫々溝a、aを形成し、この溝a、aによって毛髪hをたくわえることで図4に示すように部分的なカットが可能となり、カッティング面の毛髪hをまばらにしてソフト感を出すことができるようとしてある。

10 【0008】またホルダ部4の前記突出片5の幅を変えることによって毛束の種々なすき量の調節をすることができる。

【0009】図5、図6は別の実施例で、金属薄板を二つ折りしてグリップ2aと、レザー3aを挟持するホルダ部4aによって本体1aを形成すると共に、前記レザー3aの先端刃部はグリップ2aの中心線上に位置させるようとする。

【0010】更に、前記本体1aのホルダ部4aの外側には、ホルダ部4aを覆部材6aを設ける。

20 【0011】更に、覆部材6aの先端縁側には、凹凸させて櫛目状に成形させて突出させた突出片5aを設けると共に、この各突出片5aの先端には夫々毛髪hをたくわえる溝a、aを形成して設けて部分的なカットが可能となるようとしてある。

【0012】

【発明の効果】本発明は、上述のように、グリップの中心線上又は後部に、レザーホルダ部で保持するレザーを位置させることでレザー安定させると共に、有効な力をグリップに伝達することができる。更に、ホルダ一部の先端縁に設けた櫛目状の突出片の先端に溝を設けカットされる毛髪を分けて部分的なカットを可能にしてすき量の調節ができソフトな感じのカットができる等の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る理容用レザーホルダーの一実施例を示した正面図である。

【図2】図1の一部の拡大図である。

【図3】カット時の毛髪すき量の状態図である。

【図4】図3のカットされた毛髪の状態図である。

40 【図5】レザーホルダーの別の実施例で、本体のホルダ部を覆った覆部材を有した正面図である。

【図6】図5のX-X線の縦断側面図である。

【図7】従来のレザーホルダーの正面図である。

【符号の説明】

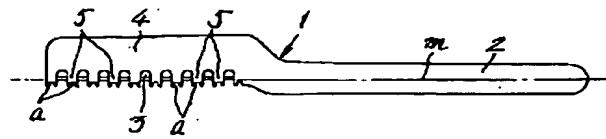
- | | |
|------|------|
| 1、1a | 本体 |
| 2、2a | グリップ |
| 3、3a | レザー |
| 4、4a | ホルダ部 |
| 5 | 突出片 |
| 50 a | 溝 |

h 毛髪

3

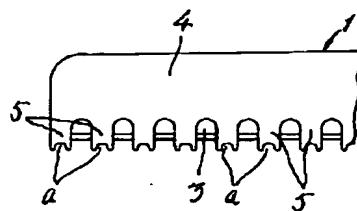
4

【図1】

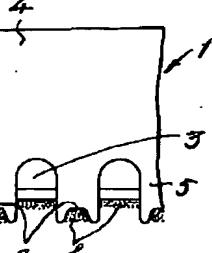
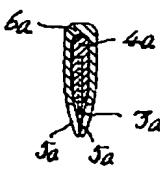


【図3】

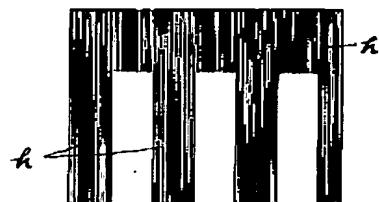
【図2】



【図6】

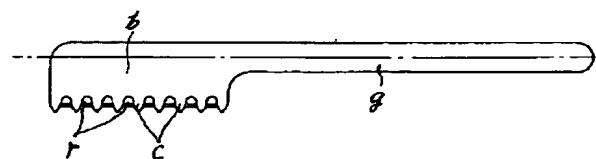
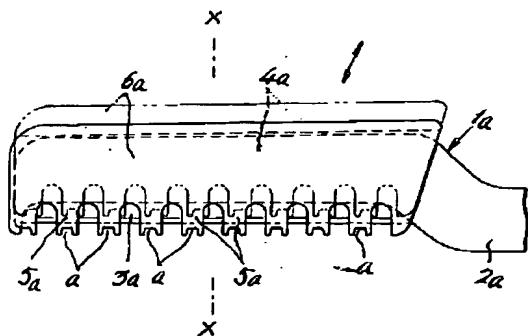


【図4】



【図5】

【図7】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年11月11日(2004.11.11)

【公開番号】特開平10-249075

【公開日】平成10年9月22日(1998.9.22)

【出願番号】特願平9-57519

【国際特許分類第7版】

B 26 B 21/40

A 45 D 24/10

【F I】

B 26 B 21/40

Z

A 45 D 24/10

【手続補正書】

【提出日】平成15年11月14日(2003.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】理美容用レザー ホルダー

【特許請求の範囲】

【請求項1】先端縁に櫛目状の突出片(5)(5a)を設けてレザー(3)(3a)を保持する本体(1)(1a)において、前記レザー(3)(3a)を保持するホルダー部(4)(4a)の、先端縁に成形した前記櫛目状突出片(5)(5a)の先端にカットされる毛髪(h)を分けてすき量を調節する溝(a)を設けた事を特徴とする理美容用レザーホルダー。

【請求項2】一方にホルダー部(4)(4a)と他方に把柄部(2)(2a)を設けた本体(1)(1a)の前記ホルダー部(4)(4a)のレザー(3)(3a)の先端刃部を、前記把柄部(2)(2a)の中心線(m)上或は中心線(m)の後部に位置させた理美容用レザーホルダー。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】

本発明は、レザーによって毛髪をカットしてすく時、すき量の調節が容易となり、かつ作業時にグリップの操作感が安定した、力を効率よく伝達することが可能となる理美容用レザーホルダーに関するものである。

【従来の技術】

多い毛髪をすく目的の従来のレザーカットのホルダーは、図7に示すように、約半分から的一方側に把柄(グリップ)gと他方側にレザーrを保持するホルダー部bをグリップgより前方に張出して設け、このホルダー部bの先端縁に、凹凸の波状をもって突出させた櫛目Cを形成し、レザーrでカットするとき、毛髪は櫛目Cに導かれてカットされるようになっている。

前記レザーカットのホルダーでは、ホルダー部で保持したレザーがグリップより前方に張出しており、そのためレザーによってカット作業をするときグリップの体勢等が不安定となるだけでなく、力の加減やカットする幅、角度等ですく量を調節するには高度の技術を必要とした。

【発明が解決しようとする課題】

本発明の課題はカット作業する際従来のように高度の技術を必要としないで、レザーやグリップを安定した操作感で扱え、髪を綺麗にカットし、仕上げられるレザーホルダーを提

供することにある。

【課題を解決するための手段】

本発明の手段は次のとおりである。

ホルダー部で保持されたレザーを、グリップの中心線上或は中心線の後部に位置させてグリップの操作感を安定させ、力を効率よく伝達させることを可能にすると共に、ホルダー部先端縁に設けた櫛目状の突出片の先端に溝を設けて、カットされる毛髪を分けて部分的なカットを可能にし、すき量の調節を容易にしたものである。

【発明の実施の形態】

図1乃至図4を参照して本発明に係る理美容用レザーホルダーの具体例を説明する。1は、グリップ2と、レザー3のホルダー部4からなる本体で、ホルダー部4で保持したレザー3の先端刃部をグリップ2の中心線m上に位置させるようにして、カット時にグリップ2に係る無駄な力を省き、グリップ2を安定した状態で維持させ、力をレザー3の先端刃部へ効率よく伝えることができる。

また、図3に示すようにホルダー部4の先端縁側に凹凸によって櫛目状に成形した突出片5を、保持したレザー3の先端刃部より突出させ、更に突出片5の先端に夫々溝aを形成し、溝aによって毛髪hをたくわえることで図4に示すように部分的なカットを可能にし、カッティング後の毛髪hをまばらにして軽量感を出すことができるようとしてある。

またホルダー部4の前記突出片5の幅や間隔、溝aの深さを変えることによって毛束の各々のすき量の調節をすることができる。

図5、図6は別の実施形態を示し、金属薄板を二つ折りしてグリップ2aとレザー3aを挿持するホルダー部4aからなる本体1aを形成すると共に、レザー3aの先端刃部はグリップ2aの中心線上に位置させる。更に、前記本体1aのホルダー部4aの外側に覆部材6aを設ける。また、覆部材6aの先端縁側に、凹凸によって櫛目状に成形させて突出する突出片5aを設け、各突出片5aの先端に夫々毛髪hをたくわえる溝aを形成し、部分的なカットを可能にしてある。また、覆部材6aはホルダー部4aと着脱自在になっており、外したり位置を移動させることで、櫛目のない通常のレザーホルダーとして使用することも可能である。

【発明の効果】

従来のようにグリップの中心線より前方（グリップが移動する方向）にレザーの先端刃部が位置する場合は、グリップで先端刃部を押して移動させる状態となり、先端刃部を中心軸としてグリップが円周方向に振れないよう、グリップを安定させながらカットを行うため、移動方向の力と共にグリップの体勢を維持する力が必要であった。本発明は、前述のようにグリップの中心線上或は後部に、レザーホルダー本体のホルダー部で保持するレザーの先端刃部が位置するので、先端刃部を中心とする軸線とグリップの中心線が互いに中心となり、互いに円周方向に振れて生じる不安定な状態が抑えられ、グリップの体勢を維持するための余計な力が不要になり、グリップの操作感が向上する。更に、グリップと先端刃部が同一軸線上或は先端刃部の後方に配置せるので、先端刃部を直接把持した状態或は先端刃部がグリップの後を追うように移動する状態になり、先端刃部にはグリップを操作する力が直に伝わるので、力の加減や角度等が容易に調整でき、楽にカット作業ができる。また、ホルダー部の先端縁に設けた櫛目状の突出片の先端に形成した溝で、カットされる毛髪を分けて部分的なカットを可能にしてあるので、すき量の調節ができ、軽量感のある仕上りにカットできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る理容用レザーホルダーの一実施態様を示した正面図。

【図2】図1の一部の拡大図。

【図3】カット時の毛髪すき量の状態図。

【図4】図3のカットされた毛髪の状態図。

【図5】レザーホルダーの別の実施態様を示す正面図。

【図6】図5のX-X線断面図。

【図7】従来のレザーホルダーの正面図。

【符号の説明】

- 1、1 a 本体
- 2、2 a グリップ
- 3、3 a レザー
- 4、4 a ホルダー部
- 5、5 a 突出片
- 6 a 覆部材
- a 溝
- h 毛髪